

令和8年3月27日

各報道機関文教担当記者 様

## 【症例報告】 国内初ドナネマブ治療患者 脳内アミロイド除去を達成し1年で投与完了

金沢大学医薬保健研究域医学系の小野賢二郎教授と篠原もえ子准教授は、金沢大学附属病院においてドナネマブ（※1）治療を受けた早期アルツハイマー病（※2）の女性患者1名について、治療開始から1年後に実施したアミロイドPET画像で脳内アミロイド除去が達成されたことを報告しました。

ドナネマブは、アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度認知症の方を対象とした抗アミロイド抗体薬です。本患者は、国内で初めてドナネマブ治療を行った方です。1年間の治療期間中、重篤な副作用は認められず、認知機能を含む症状の明らかな悪化も見られませんでした。本患者では、脳内アミロイドの十分な除去が確認されたことから、1年間でドナネマブ治療を終了することができました。

本症例のような、抗アミロイド抗体薬治療症例の集積および解析を通じて、今後、アルツハイマー病治療のさらなる発展につながることを期待されます。

本研究は2026年3月25日に国際学術誌『*Neurology*』のオンライン版に掲載されました。

### 【症例報告の背景・目的】

ドナネマブは、早期アルツハイマー病を対象とした治療薬であり、日本では2024年から医療現場で使用されています。本症例は、日本で初めてドナネマブ治療を開始した方です。ドナネマブ治療では、投与開始から1年後にアミロイドPET検査を実施し、PET画像により脳内アミロイド除去が確認された場合に治療完了となります。

### 【症例報告の概要】

本患者は、重篤な副作用を認めることなく1年間のドナネマブ治療を実施することができました。治療開始前には、同じこと繰り返し尋ねるなどといった認知機能低下症状が認められましたが、1年間の治療期間中に明らかな認知機能の低下はみられませんでした。治療開始前に実施したアミロイドPET検査では、大脳皮質全般にアミロイド蓄積が認められましたが、治療開始から1年後のPET画像では、脳内アミロイドの除去が確認されました。

### 【今後の展開】

本症例のような抗アミロイド抗体薬治療を受けた患者の症例データを継続的に蓄積・解析することにより、アルツハイマー病治療の最適化および安全性の向上につながることを期待されます。

### 【掲載論文】

雑誌名：*Neurology*

論文名：Successful amyloid removal by donanemab treatment in a female patient with Alzheimer's disease: a case report

(ドナネマブ治療により脳内アミロイド除去に成功したアルツハイマー病女性患者：症例報告)

著者名：Moeko Noguchi-Shinohara, Kenjiro Ono

(篠原もえ子、小野賢二郎)

掲載日：2026年3月25日にオンライン版に掲載

DOI：10.1212/WNL.0000000000214817

## 【用語解説】

### ※1 ドナネマブ

ドナネマブはアルツハイマー病の治療薬で、アミロイドプラークに選択的に結合する抗体です。

### ※2 アルツハイマー病

アルツハイマー病は徐々に進行する脳の疾患で、記憶や思考する能力が徐々に障害され、やがて日常生活に支障をきたす認知症と呼ばれる状態に陥る病気です。アルツハイマー病の患者の脳内には、アミロイド $\beta$ という物質が溜まってできる老人斑といわれる構造物や、異常な神経線維のもつれ（タウタンパクが異常リン酸化して生じる神経原線維変化）、神経細胞の消失といった変化が見られ、これらの変化が長い時間をかけて進行します。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

### ■研究内容に関すること

金沢大学医薬保健研究域医学系

教授 小野 賢二郎（おの けんじろう）

准教授 篠原 もえ子（しのはら もえこ）

TEL：076-265-2292

E-mail：onoken@med.kanazawa-u.ac.jp

### ■広報担当

金沢大学医薬保健系事務部総務課総務係

山田 里奈（やまだ りな）

TEL：076-265-2109

E-mail：t-isomu@adm.kanazawa-u.ac.jp